

わかりやすい説明の方法

国語監修・執筆

齋藤 祐

■ 今回のポイント

- ① わかりやすい説明の原則って何？
- ② 辞書を使ったゲームで「わかりやすい説明」のコツをつかむ

■ 今回の言語活動

「情報の整理をしよう」

【活動の手順】

- ① 情報を出す
- ② 分類する
- ③ 並べ替える

【ポイント】

話題の概要から説明を始め、だんだんと詳細に入っていく、というのが大切です。今回番組で紹介した「三色だんご」の場合、「だんご全体の情報」「各色のだんごに関する情報」という順番で整理してあげると、伝わりやすくなります。「概要から詳細」のほかには、「情報の重要な順」「時間の順」などの原則があります。何を伝えたいのか、どうすれば伝わるのかを意識して、いろいろ工夫してみてください。

「辞書クイズに挑戦」

【活動の手順】

- ① 辞書の中からお題となる言葉を選び、その意味を調べる
- ② 誤答となる「辞書っぽい」説明を作成する

【ポイント】

「辞書クイズ」とは、辞書の中に書いてある言葉から任意のものを選び、それがどういう意味なのかを考えて説明文を作って、解答者たちが正解を当てる、というゲームです。

出題者は、選んだ言葉の語感をイメージして、音からの連想や意味的な類似性を意識すると「辞書っぽい」説明文を作ることができます。

この活動は、辞書を使って「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」の言語の四技能すべてを駆使しないと正解にたどりつくことができません。また、クイズの司会者も、それぞれの解答を意味づけたり、時間を管理したりすることを通じて、貴重な学習体験を得ることができます。誤答に「具体性」があると難易度が上がっておもしろくなります。

■今回のまとめ

「わかりやすい説明」のためには、「伝える」と「伝わる」ことの違いを意識することが大切です。自分としては「伝える」つもりで説明していたとしても、それが実際に「伝わる」かどうかはわかりません。誤解を生まないように、丁寧に、かつ具体的に筋道立てて言葉を並べる必要があるのです。

日常の会話は、あいまいな表現や省略された言葉で意思疎通ができてしまうことがあります。情報伝達の確からしさを高めるためには、いま一度、自分が使っている言葉の選び方や話す順番を工夫することが求められます。